

図書館だより

- 中央図書館 ☎(0857) 27-5182 開館時間：午前9時～午後7時 (土・日曜は5時まで)
 - 気高図書館 ☎(0857) 37-6036 開館時間：午前10時～午後6時
 - 用瀬図書館 ☎(0858) 87-2702 開館時間：午前10時～午後6時
- 休館日：毎週火曜日、毎月最終の木曜日、祝日の翌日(気高、用瀬のみ)
年末年始、特別資料整理期間(蔵書点検)

中央図書館の開館日が増えます

中央図書館では、これまで祝日の翌日(火曜日と重なったときは翌日の水曜日)を休館していましたが、市民のみなさんのご要望にお応えして、7月から開館することとしました。

【7/15～8/14の休館日】 7/18・25(火)、27(木)、8/1・8(火)

「子どもと本の出会いの講座」

好評をいただいている末宗辰彦さん(「子どもの文化講座」主宰)による年6回開催の「子どもと本の出会いの講座」。第5回は気高図書館、第6回は用瀬図書館を拠点とした地域講演となります。これまで受講されている人も、初めての方も、どの会場においていただいても構いません。ぜひ、ご来場ください。

回	日時	テーマ	場所
5	8月24日(休) 16:00～17:30	昔話と科学	用瀬町民会館 2階大研修室
6	9月7日(休) 19:00～20:30	絵本から童話	気高町中央公民館 2階大会議室

環境大学との連携記念講演会

雨かんむりの科学

雨や雪は
どのようにして
できるの?



市立中央図書館は昨年10月1日、鳥取環境大学情報メディアセンターと図書館利用の相互協力に関する協定の調印を行いました。これを記念して、次のとおり講演会を開催します。ぜひご参加ください。



- と き 7月29日(土) 午後2時～3時30分
- ところ 中央図書館 多目的ホール
- 講師 鳥取環境大学情報メディアセンター長 遠藤辰彦さん
- 定員 60人 ※事前申込みは不要。当日、定員になり次第、入場を締め切らせていただきます。

遠藤辰彦さんプロフィール 北海道大学大学院を修了後、同大学の地球物理学科や低温科学研究所で助教授を勤め、昭和63年には国立極地研究所客員教官として第30次南極観測隊にも参加。平成15年から鳥取環境大学環境政策学科教授。雲物理学や酸性雪、地球温暖化などが専門分野で、日本気象学会や米国気象学会の会員でもある。

町へ村へ 移動図書館車が走る!

「なかよし号」の巻
Vol.2

これからも資料の確保に努めていきたいと思っています。

内も広く、2500冊以上の本が積めるという特長を生かして、団地や公園など、利用の多いステーションを中心に巡回しています。

国府町にお住まいの湊雅子さんは、合併前までは国府町の公民館図書室を利用しておられました。今ではすっかり「なかよし号」の常連さん。「以前、子どもの教科書に移動図書館車のが載っていて、どんな車だろうと子どもと話していたんですよ。その移動図書館車が自宅のそばまで来てくれるようになって、本当に感動しました。」

そう言いつつ、今日もたくさん本を借りて帰られました。

また、林恭子さんは、以前は美萩野のステーションで「なかよし号」を利用しておられました。合併前に国府町の近くに転居されました。近隣に移動図書館車のステーションがなく困っておられました。合併後、あおば公園に「なかよし号」が巡回するようになったので、とても喜んでいただいています。「本が大好きなので、新聞に載っている本の広告を見るとすぐに読みたくなって、電話でつい予約してしまいうんですよ。」

湊さんや林さんをはじめ、大切な図書館のお客様の信頼にお応えするため、リクエストのあった本や資料相談のあった本については、できる限り巡回日にお持ちできるような

信頼にお応えできるサービスをめざします。



中央図書館
はら たけし
原田 滝介

鳥取市立図書館には5台の移動図書館車があります。そのなかでも、もっとも大きく、そして歴史があるのが中央図書館の「なかよし号」です。旧鳥取市市民図書館が開館した昭和57年から運行を開始し、現在の車両は2代目になります。マイクロバスを改造した大型車なので、車